

FM/AM コンパクト ディスクプレーヤー

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

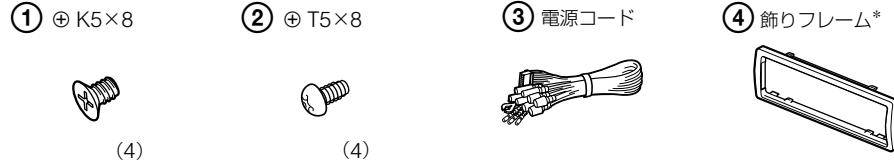
⚠ 警告 本機は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CDX-M850MP

© 2003 Sony Corporation Printed in Korea

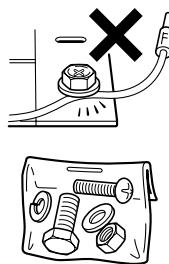
取り付け部品の確認（付属品）



* 取り付けキットGMD-237（欧州車、マツダ車、フォード車用）をお使いになるときに使用します。このとき、GMD-237に付属されている飾りフレームは使用しません。

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内（FAX付電話をご利用になれます）

カーフィッティングFAXサービス 車輌メーカー、車種・車輌形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

①インデックスの入手／03-3552-7209 →車輌メーカー別のBOX番号を受信

②資料請求／03-3552-7488 →アナウンスに従って希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。（第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。）

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
- お客様ご相談センター
 - ナビダイヤル 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
 - 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
 - FAX 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

⚠ 警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



⚠ 警告  
下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



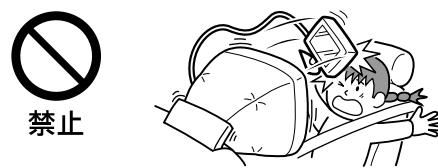
本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

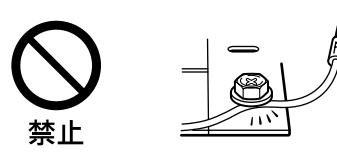
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリー上がりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用すると、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。

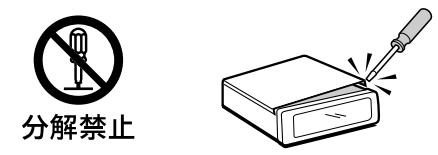


雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

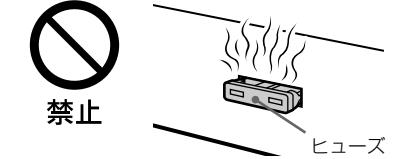
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてします。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものを使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



⚠ 注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

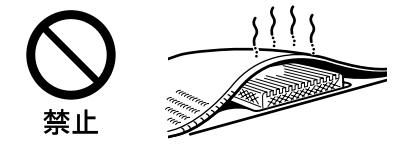
安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



本機の通気口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

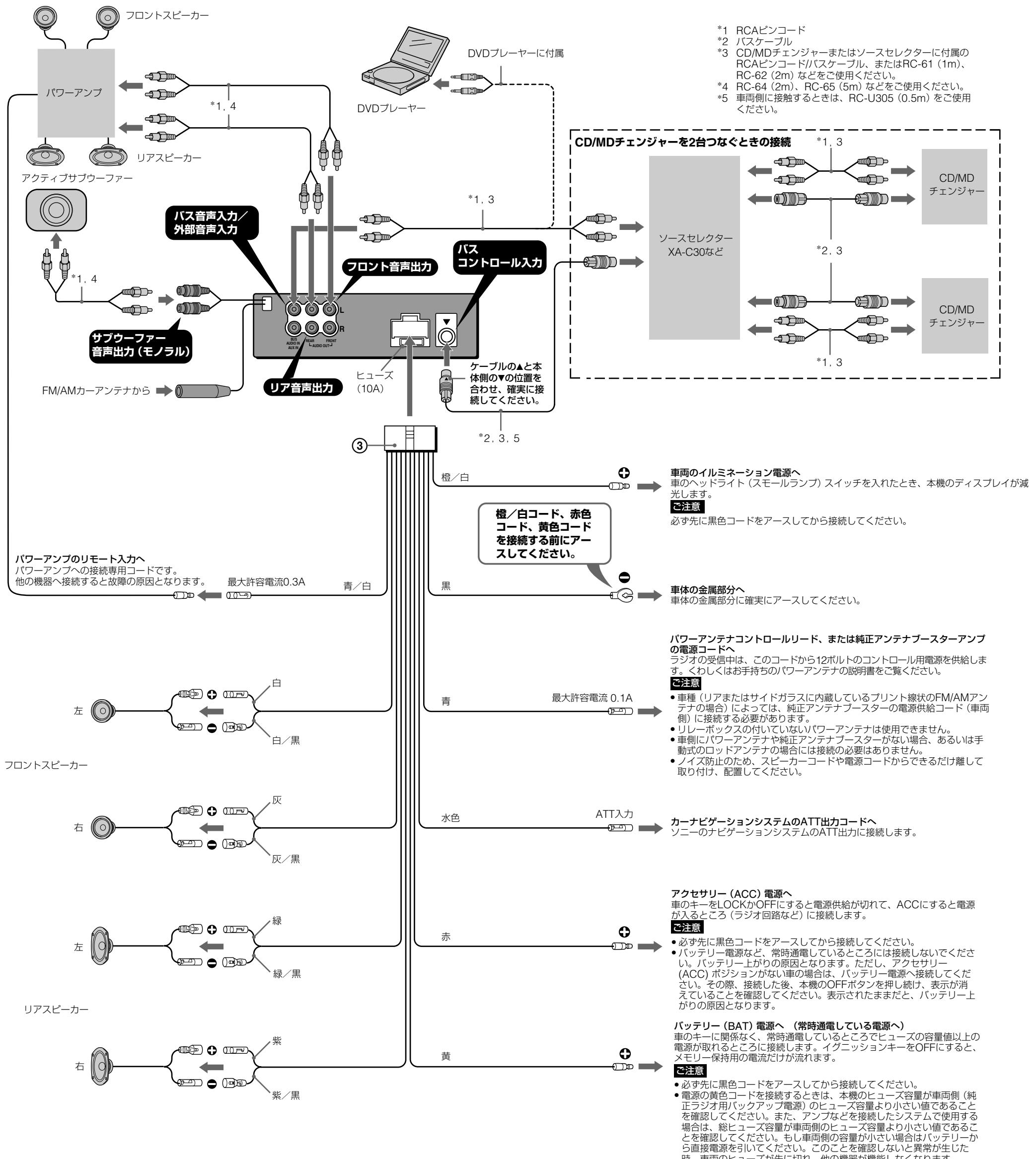


1 接続する前に

- この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書も併せてご覧ください。
別売品の仕様については、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。
- FM/AMアンテナコード、バスケーブル、RCAピンコード、および電源コードの各コードは、できるだけ離して配置してください。ノイズの原因となります。

- バスケーブルやコード類を外すときは、コネクター部分を持って抜いてください。
コードを引っ張ると、コードが抜けてしまうことがあります。
- 車両側から本機に配線する場合は、ソニー配線キットを必ずご使用ください。
配線キットをご使用にならないと故障の原因となる場合があります。当社では車種別配線キットを用意しておりますので、お買い上げ店にご相談ください。

2 接続する



3 取り付ける前に

接続しないコードは金属部分を露出したままにせず、絶縁して取り付けてください。
絶縁しないと思わぬ故障の原因となります。

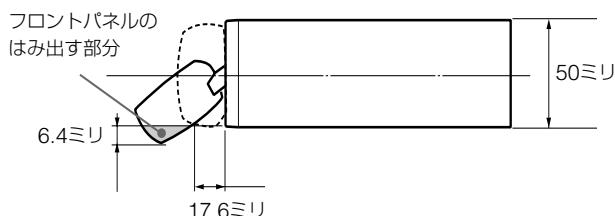
取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。
• 運転の妨げになる所
• グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

フロントパネル取り付け時のご注意

本機のフロントパネルを開けたとき、フロントパネルの一部が本体からはみ出します。取り付けた車両側に接触部分がないことを確認してください。



フロントパネル操作時のご注意

本機の下段にカーオーディオ機器を取り付けた場合、本機のフロントパネルを開くと次のようなことが生じることがあります。このようなときはフロントパネルを閉じてください。

- 下段の機器のボタン類が操作できない
- 下段の機器の表示窓が確認できない
- 下段の機器のソフト (CD、MD、カセットテープなど) が交換できない

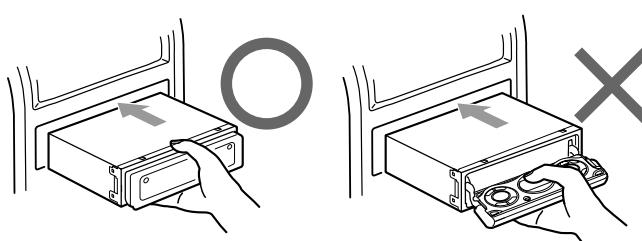
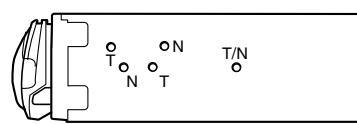
センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。

お車が上記以外のときは、取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT (トヨタ車用)、N (日産車用) マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。
- 水平から+60度以内で取り付けてください。60度を超えて傾けて取り付けると、CDの音とびなどの原因となります。
- 本機を車に取り付けるときは、必ずフロントパネルを閉めた状態で作業をしてください。フロントパネルを開けた状態で取り付け作業を行うと、パネルに無理な力が加わり故障の原因となります。



4 本体を取り付ける

1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外します。(取り外しかたが分からぬ場合は、この「取り付けと接続」表面に記載されているソニーFAXインフォメーションサービスなどをご利用ください。)

2 本機を取り付ける。

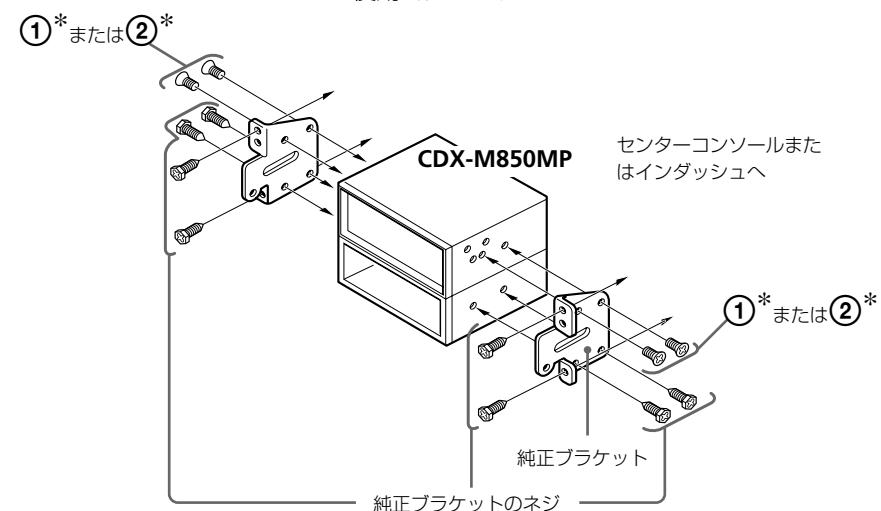
カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

ご注意

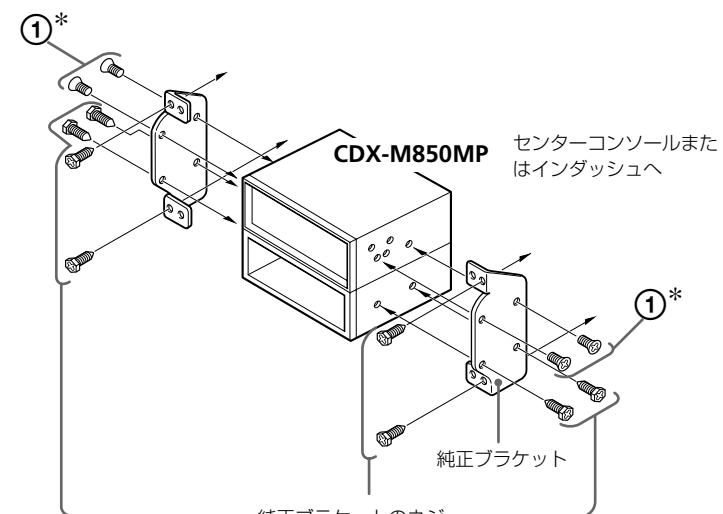
- 本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

トヨタ車/三菱車の場合 (イラストはトヨタ車の場合)

①と②のネジは取り付ける車両により使い分けてください。
三菱車に本機を取り付ける場合は、②のネジをご使用ください。



日産車の場合



* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。
他のネジを使用すると故障の原因となります。また、車両側の純正ブラケットを通さず、本体に直接ネジを締め付けると故障の原因になります。

5 取り付けと接続が終わったら

1 取り付けや接続に誤りがないか、各コードは確実に接続されているかを、もう一度確認する。

2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

3 リセットボタンをつまようじの先などで押す。

ご注意

- 針のようないで強く押すと故障の原因となります。
- リセットボタンを押してから10秒間は、ディスクを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- リセット後は、必ずOPENボタンを押して一度パネルを開けてから他の操作をしてください。



4 本機が正しく動作するか確認する。

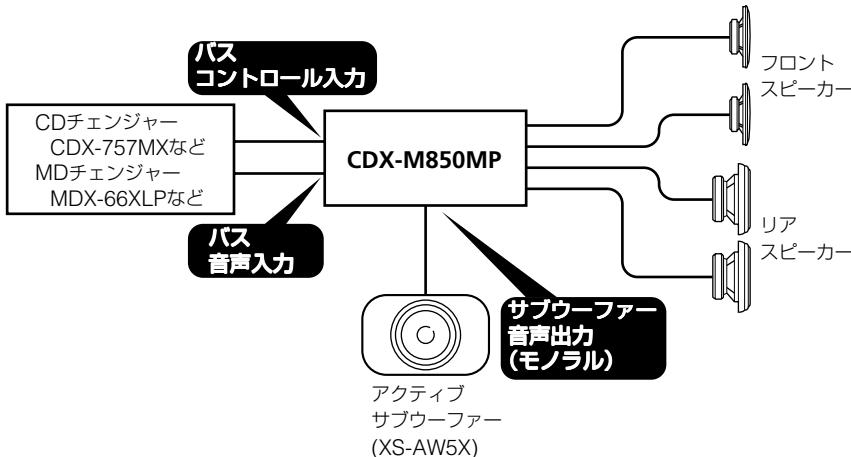
ご注意

すでにディスクが入っている場合は、挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO Disc」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。

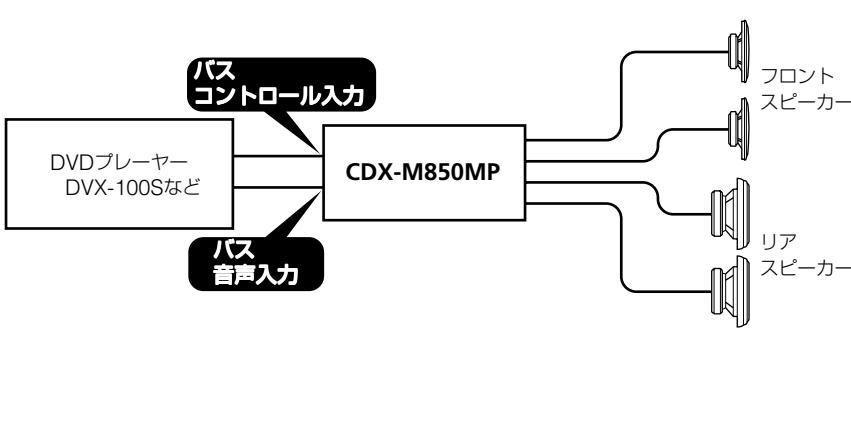
システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合は、ソースセレクターXA-C30が必要です。

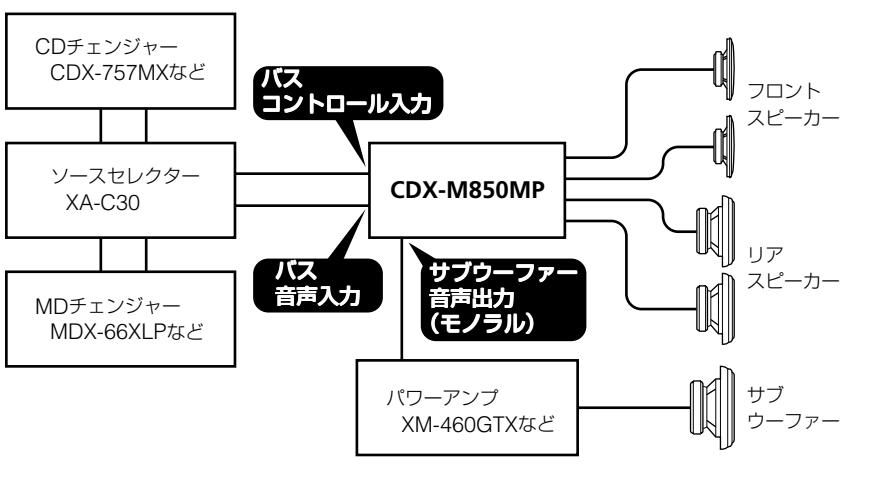
接続例1



接続例2



接続例3



接続関係のご注意

スピーカーを接続するときは

次のことをお守りください。スピーカーの故障や破損の原因になります。

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにする。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーを使う。
- 充分な許容入力を持つスピーカーを使う。
- スピーカーの④、①端子を車のシャーシなどに接続しない。
- 本機のスピーカーコードどうし（特に④端子どうし、①端子どうし）を接続しない。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの①側が共通になっているものは使わない。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、端子にビニールテープを巻いてください。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー（アンプ内蔵スピーカー）を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- トヨタ車や三菱車、日産車にはトレードインスピーカーがあります。くわしくはお買い上げ店にご相談ください。
- 本機のアース用コード（黒色）をスピーカーの①端子に接続しないでください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い（電流容量不足）ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、電源コードRC-39を使って電源配線をすることをお勧めします。

純正アンテナブースターの接続

車種（リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合）によっては、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続する必要があります。この場合はパワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリー電源（赤色）を接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ（リレーボックス付き）に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れた時にパワーアンテナが自動的に出ます。

ACC（アクセサリー）ポジションの無い車に本機を取り付けた場合の操作上のご注意

お車を離れる際は、必ず本機のOFFボタンを押し続けて表示が消えたことを確認してください。OFFボタンを短く押しても、表示が消えずにバッテリー上がりの原因となります。

故障かな？

接続関係に誤りがあると、以下の不具合が出ることがあります。
表面の「**2 接続する**」に従って、正しく接続されているかもう一度ご確認ください。

症状	原因・処置
電源が入らない。 音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">アース用コード（黒色）、アクセサリー電源用コード（赤色）、バッテリー電源用コード（黄色）が正しく接続されていない。スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞く時は、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。スピーカーコードが外れている。ヒューズが切れている。 →お買い上げ店にご相談ください。電源コードが正しく接続されていない。イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。車のバッテリーが正しく接続されていない。
フロントスピーカーと リアスピーカーの音が 逆に出る。	スピーカーコードが逆に接続されている。 →スピーカーコードの接続を確認してください。
ラジオが受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none">リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合、パワーアンテナコントロールリード（青色）または、アクセサリー電源コード（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。 くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリード（青色）の接続を確認してください。アース用コード（黒色）が正しく接続されていない。FM/AMカーアンテナとの接続を確認してください。
車のライトをONにしても イルミネーション用コード（橙／白色）が正しく接続されていない。	

ヒューズについて

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。
- 本機の黄色コード（バッテリー電源入力コード）を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量（ラジオまたはオーディオ電源）より小さい値であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。